

平成20年度 協働パイロット事業 応募団体一覧表

	団体名	金額
提 案 の 概 要		
1	静岡・海辺づくりの会	250,000
<p>自然が蘇る海辺、次代に残そう美しい静岡海岸 私たちの活動は、静岡海岸の清掃、環境整備、自然再生、レクリエーション、防災など5つの分野にまたがっています。人々との新しいつながりを生み出す海辺を“里浜”と称し「次代に誇れる美しい自然」と「訪れる人々の心に残る」海辺づくりを目指し活動しています。 当会の特徴は、地域町内会のリーダーや活動に対し同じ思いを持つ協力者の集団「環境市民活動団体」であること、いわば地域の人たちと密接なつながりを持って活動していることが最大の強みであると認識しています。また行政や企業ではできない仕事や事業を代行し、地域住民や一般市民の協力・理解を得て広く地道に活動を行っています。 しかし、ボランティア活動だけでは限界があり、行政や企業の支援が不可欠の状態です。 こうした背景のもと総合案内パンフレットや清掃活動、植物観察会などの事業活動を通じて「美しい静岡海岸」の実現や啓発活動に少しでも役立てば幸いです。</p>		
2	課題部門：清水映画サークル協議会	249,000
<p>元気な子供たちに送る映画会「かかしの旅」～助け合える友達づくりを！ 事業の主たるものは映画「かかしの旅」の上映会です。 希薄な人間関係や、核家族化から心の伝承が薄れてきていると思います。今の社会で不足しがちなこと、思いやりや優しさなど理解してほしい。 この作品はいじめにあった少年たちが自立していく物語ですが、すべてこのようにうまくいくことはありませんが、友達と仲良くするには、思いやりのある友達関係など少年たちの成長期にはきっとヒントになることと思います。学校外でも自立して暮らしていける友達関係、有意義な夏休みの過ごし方など援助できたらと思っています。 静岡市子ども会連合会（清水区）には団体鑑賞をお願いしてあります。 子ども会の活性化にもなれば嬉しい。</p>		
3	自由部門：(特)災害・医療・町づくり	249,900
<p>東海地震と戦う町づくり 東海地震の被害想定は地元の行政や医療で対処できる数字ではない。外からの本格的援助は日最後24時間は届かない。揺れが収まった時、無事だった人が皆で生き埋めの人やけが人を助ければ、失わずにすむ命もある。我々は訓練のなかで、地域の怪我人などの被害想定数と救急・消防や医療の数を比較し、家族や隣人を助けるのは市民がするしかないとを訴える。そして具体的な行動として、倒壊家屋からの救出の仕方や、市民でできるトリアージの方法や身近にあるもので行う応急処置を教え、重傷者を病院に運ぶのは市民の仕事だと求める。「地域の命は地域で守ろう。そのための知識や技術を学ぼう」という企画である。この考え方を次年度に、さらに他地域にも拡げる為、アンケートをとり活動記録として残す。</p>		
4	自由部門：(特)海辺を考える しおさい2 1	249,900
<p>清流の都創造に向けた下山田川（興津川支川）浄化事業 清流として名高い興津川の河口から約500m上流の右岸に合流する下山田川は、現在、河道部の側壁と河床の3面とも汚濁物質が付着し、合流部の興津川河床においては汚泥が堆積している。この状況を改善するために地域住民は興津連合自治会を中心に「興津川を美しくする会」が発足した。</p>		

平成20年度 協働パイロット事業 応募団体一覧表

5	自由部門：(特)しずおか環境教育研究会	225,750
<p>守ろう！静岡の自然・集おう！里山のにぎわい祭り 当NPOは、県中部地域を中心に、子どもたちを初めとした市民に自然体験や環境教育を提供し、静岡市の美しい自然が保全と健全な人づくりがなされることを願い活動している。近年は幼児親子、小学生対象の事業への参加が倍増するなど、自然体験や環境教育のニーズが高まっている。活動が継続的に実施され、環境を守れる人づくりがなされていく為には、より多くの市民や企業の理解を得、静岡市市民活動促進基本計画にもあるように、地域が一丸となって課題に取り組むことが必要である。そこで、地域町内会や自治会、森づくり団体や大学の環境サークル等に静岡市を加えた実行委員会により「里山のにぎわいまつり」を実施し、子どもたちによる活動報告や環境教育の意義の発信、周辺に生息する生き物や風景のパネル展示、自然素材工作体験など楽しいイベントを行うことで、環境教育や里山の保全への普及啓発を図る。</p>		
6	自由部門：クロスフィットネス静岡	249,900
<p>ニュースポーツの「ノルディックウォーキング」を紹介、普及する事業 クロスフィットネス静岡は、様々なスポーツの喜びを身体活動量の低下している現代人に対して、身近な環境でできる、基本的なスポーツや運動を紹介し普及を行うことで市民に身体を動かす喜びと健康長寿の実現を支援する団体である。 ノルディックウォーキング、クロスカントリー、ジョギング、ロードサイクリングなど基本的な有酸素運動を個人の環境、体力などに合わせ自由に選択・複合することの楽しさを体験会や講習会を通し市民に伝えていく活動を行います。 本年度は、クロスカントリースキーマの選手の夏場のトレーニングから発生し、21世紀にヨーロッパで愛好者が急増した新しいスポーツであるノルディックスキーを社会体育の指導者と一般市民に紹介しスポーツ文化振興の一助として愛好者の拡大を図りたい。 参加人口：フィンランド(82万人、参加率16%)、オーストリア(80万人、参加率10%)、日本(統計的データがないほど少数)</p>		
7	自由部門：(特)三保の松原・羽衣村	250,000
<p>三保の松原環境まるごと博物館 瀕死状態の三保の松原に今必要なのは松原の整備と整備活動の核となる組織のネットワーク化及び整備活動を希望する市民とのネットワーク化である。比較的盛んな海岸清掃の整備活動を松原の整備に移行していけば松原に人の手が入り整備も促進され三保の松原に親しみをもち市民もふえるはずだ。せっかく三保へと足を運ぶのなら三保ならではの環境学習のプログラムも取入れ三保の松原を整備する動機付けも大切である。一人の力は小さくてもその活動が尊い三保の環境と景観の維持に大きく寄与していることを認識してもらえ。三保を思う人は地元にも多い。ただ何をどうしたら良いのか分からないのである。環境学習は故郷を思う心へとつながる。松原の整備活動はまったなしの状況で迅速に立ち上げなければならない。私たちに出来るのは小さなモデルである。続けること。それと鎌ヶ崎のPRが必ずネットワーク化へと弾む。出来ることから始めたい。</p>		
8	自由部門：清水おやこ劇場	224,437
<p>創造力を伸ばす子育て『積木ワークショップ』 永く子どもたちに関わる活動をしてきましたが、年々子どもたちを取り巻く環境は厳しくなり、時間に追われ、余裕のない顔を見せるようになってきました。「積木ワークショップ」で自由に遊ぶことにより、豊かな想像力を働かせて自由に表現する喜びを感じて欲しいと思います。サイズの統一された1万個の積木は、子どもだけでなく大人の創造力をも刺激します。 全6回 「お父さんと積木で遊ぼう！」対象：父親と幼児 「ボールとカラフルビーズで遊ぼう」対象：乳幼児の親子 「小学生のゆかいな積木」一人遊びから協同作業へ 「高学年から中学生のための積木」人の入れる大きなドームを作ろう 「大人のための積木」自由な発想を形に 集中しているときの子どもはいい顔をしています。それを見て、遊びの邪魔をしないで待つことの大切さに</p>		
9	自由部門：静岡市地球温暖化対策地域協議会	249,900

平成20年度 協働パイロット事業 応募団体一覧表

<p>廃食油回収・BDF化仕組みのモデル作り事業 静岡市にある静岡油化工業(株)には、近く4500l/日のBDF製造能力が見込まれ、静岡県のBDF製造拠点となっている。しかし、静岡市域では業務用を除いて、一般家庭廃食油は回収されず捨てられているのが現状である。この状況下で家庭廃食油を回収して有効活用することはCO2の排出削減に寄与するとともに、市民の環境意識の啓発と持続可能な低酸素型社会づくりへ大きく貢献するものである。 廃食油の回収方式は、スーパーマーケットを回収拠点とする「スーパー型」と地域の資源集積所へ住民が持ち寄る「住民型」とし、両方式の特徴を活かして回収の効率化を図る新たな試みを行う。 行政にはスーパーマーケットや自治会、BDF製造施設が協力しやすい環境づくりと、法的問題および側面からの協力要請、資金面での協力を期待したい。本事業の目標は家庭廃食油回収の基礎固めである。</p>	
10	<p>自由部門：(特)静岡県防犯アドバイザー協会</p> <p>248,115</p> <p>安全・安心・住み心地のいい地域づくり 中学生による防犯活動 過去、一般の成人高齢者を対象に防犯講演会を110回、8575人に行いました。その場では真剣に聞いていただきますが、実際に家に戻ってしまうと今までどおりの生活で、夏など玄関は開けっ放しで、二階の窓など網戸のまま寝たり、庭に置いてある自転車など鍵もかけずに置いてある始末です。そこでわたくし達は次世代を担う人たちに防犯意識を持ってもらうことが重要だと感じました。一つの地域で系統性をもち継続して活動できるのはまさに中学生であり、一緒に防犯の勉強をしながら防犯のノウハウを伝授してゆきます。中学生が防犯活動を行えば、校内や学区内の安全など常に防犯意識が働き、家庭では戸締りの確認などに注意し、生徒内での万引きや窃盗などが抑止され自分や友達が犯罪者にならないことも出来ます。そして、そこで培われた道徳観、倫理観が次の世代に受け継がれ本当の住み心地のいい安全・安心なまちになります。</p>
11	<p>自由部門：エコハウスしずおか</p> <p>210,000</p> <p>ケチではなくてエコです ゴミ減量のためにも、資源のためにも、できるだけ無駄にしないで使いきる暮らし方が必要です。不用品を交換しあう場、不用品を生かして使う知恵と方法を多くの人に知ってもらうために、映像で伝えていく。 (1)古着を利用した「布づくり作り」「裂き織」「ラグ作り」「帽子作り」 (2)野菜くずや自然の素材を利用した染色方法とその残さいを「生ゴミ堆肥化法」で土にもどし、野菜を植える。 (3)「布ナプキン作り」「せっけん、重曹を使った洗濯、掃除」 (1)から(3)の内容を盛り込んだビデオ、あるいはDVDを制作し学校や公民館で利用してもらう。</p>
12	<p>自由部門：「ゴミゼロプラン静岡」市民ネットワーク</p> <p>199,500</p> <p>ゴミゼロフェスタ in 街中 手軽、便利、快適を表題に大量生産・大量消費・大量廃棄が続いている今日。静岡市が進める「もったいない運動」。未だ使えるものを使い回す、静岡的習慣を創りたい。無料不用品交換＝ゴミゼロフェスタは静岡で生まれた全国から注目されている方式。今まで、郊外の清掃工場で行ってきたがもっと「便利で手軽に」出来る場所、街中で実施することで、更にその存在と意義を静岡市民と全国に発信する。</p>